

中学校

第1学年 「総合的な学習の時間」単元指導計画

単元名	世界遺産・縄文知名度UP大作戦！	時数	14時間
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文遺跡や文化の保存や継承に携わる人々と関わることによって、地域の縄文遺跡の価値を発信していくことの意義を理解するとともに、目的や方法、対象を明らかにして情報を発信する方策を考え、地域活性化や文化の継承への自分の関わり方について考えることができるようにする。 		
地域、生徒の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文時代に関する歴史的な事象について理解している。 ・身近に北海道・北東北の縄文遺跡群や関連資産があり、見学等を通して興味関心を高めている。 		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の縄文遺跡や文化について、国宝指定や世界遺産登録の経過などを学ぶことを通して、その価値を理解している。 ②地域の縄文遺跡や文化について、保存や継承に携わる人々と関わることを通して、自分たちもその活動に携わる一員であることに気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の縄文遺跡について地域が抱える問題状況の中から課題を設定し、解決に必要な具体的な取組について、見通しをもって計画している。 ②現状を把握するために必要な情報を多様な方法で収集している。 ③収集した多様な情報を分類・整理し、地域の縄文遺跡の価値を伝える目的や方法、対象を明らかにして情報を発信する方策を考えている。 ④地域の縄文遺跡の価値を発信する活動を振り返る中で、自分自身の変化や成果、課題に気づき、これから取り組むことを明らかにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の縄文遺跡の価値について、調べたことの中から伝えたいことを明確にして、発信しようとしている。 ②身近にある縄文遺跡や文化について、地域の人々の保存や継承に関わる活動を視野に入れ、自分もその一員として継続的に関わろうとしている。
教材について	<ul style="list-style-type: none"> ・「函館市縄文文化交流センターウェブサイト (http://www.hjcc.jp/)」 ・「世界遺産 北海道・北東北の縄文遺跡群 (https://jomon-japan.jp/)」 ・「北海道の縄文遺跡～北海道の縄文時代と世界遺産を学ぼう～」(北海道教育委員会) ・「カックウと学ぶ 北の縄文世界」(北海道環境生活部くらし安全局文化・スポーツ課縄文世界遺産推進室) ・「世界遺産 北海道・北東北の縄文遺跡群」(縄文遺跡群世界遺産本部) ・大船遺跡VRツアーデータ (https://kitano-jomon.jp/vrtour/jomonvr-oofune/) ・埋蔵文化財3D映像資料 (https://kitano-jomon.jp/syutudo/) ・はこだて縄文学習デジタルブック (函館市教育委員会生涯学習部文化財課) 		
地域の人材について	<ul style="list-style-type: none"> ・函館市縄文文化交流センター学芸員 ・史跡大船遺跡及び史跡垣ノ島遺跡ガイド 		
地域の施設について	<ul style="list-style-type: none"> ・函館市縄文文化交流センター ・史跡大船遺跡 ・史跡垣ノ島遺跡 		

時 間	<div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px; border-radius: 10px; display: inline-block;">探究過程</div> ● 主な学習内容	□ 評価 ○ 人材、施設、資料等の活用 ■ 指導上の留意点
1	<div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px; border-radius: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">課 題 の 設 定</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 小学校や社会科での縄文時代についての学びを振り返り、縄文時代に関する既習の知識をイメージマップを用いて整理する。 ● 世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」に関する資料や函館市縄文文化交流センター学芸員による講話等を通して、地域の縄文遺跡の価値を調べるとともに、地域が抱える問題に気付く。 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・縄文時代の人々は、1万年以上もの長い期間にわたり、環境の変化に合わせて生活を変化させながら、狩猟・採集を中心とした定住生活を維持し続けてきたことが「垣ノ島遺跡」や「大船遺跡」などの地域の遺跡から分かるんだ。 ・北海道初の国宝「土偶」が、私たちの身近な地域から出土したんだ。 ・「垣ノ島遺跡」や「大船遺跡」からは、定住の始まりから発展に至るまでのムラの様子や土地の利用の仕方が分かるんだ。 ・世界遺産として認めてもらうためには、遺産そのものに価値があるだけでなく、その遺産をしっかりと守り、未来へと伝えるための仕組みが整っている必要があるんだ。 ・私たちの地域の縄文遺跡も、ホームページで情報発信をしたり、来訪者に遺跡の価値を伝えるガイドを行ったりして、未来へと伝えていく取組を行っているんだ。 ・市内や近隣市町の住民には、意外と縄文遺跡や文化について知られていないんだ。 ・遺産を守り、未来へと伝えていく取組は、地域住民も行っているけど、後継者が不足しているんだ。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 学習課題を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> 地域の縄文遺跡が抱えている問題について、自分たちに何ができるかを考えよう！ </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 課題解決のために、学習計画を立てる。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・私は、後継者となり得る地域の小・中・高校生にアンケートをとり、地域の縄文遺跡についてどのようなことを知っているか、地域の縄文遺跡に興味関心はあるか調べよう。 </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・私は、全校生徒の保護者や地域住民にアンケートをとり、年代による知名度の差を調べよう。 </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・私は、函館市縄文文化交流センターで学芸員やガイドとして縄文遺跡を守ったりその価値を伝えたりしている人たちにインタビューをして、どのような思いや願いを持っているのか調べよう。 </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> □ 地域の縄文遺跡や文化について、国宝指定や世界遺産登録の経過などを学ぶことを通して、その価値を理解している。(知-①) ○ 小学校や中学校の社会科での縄文時代についての学びを振り返りやすいように、教科書を用意する。 ○ 地域の縄文遺跡や文化に関する情報を調べ、新たな気付きや興味・関心、疑問等を持つために、世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」に関する資料や大船遺跡のVRツアーデータ等を活用する。 ○ 地域の縄文遺跡や文化に詳しい専門家に基礎的な情報を聞き、概説的な知識を手に入れるために、函館市縄文文化交流センター学芸員による講演等を行う。 ■ 世界遺産に指定された遺跡のみならず、周辺の関連遺跡等についても触れることで、地域全体の縄文時代に対する理解が深まるようにする。 □ 地域の縄文遺跡について地域が抱える問題状況の中から課題を設定し、解決に必要な具体的な取組について、見通しをもって計画している。(思-①) ■ 活動は大きく3つのグループに分かれるが、情報収集は、生徒一人一人が個別に行う。

時 間	<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; display: inline-block;">探究過程</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 主な学習内容 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 人材、施設、資料等の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 指導上の留意点
<p>3～5</p> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; margin: 10px 0;">情 報 の 収 集</p> <p>● 地域の縄文遺跡が抱える問題について現状を把握するための情報を幅広く集める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【函館市縄文文化交流センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縄文遺跡を守ったりその価値を伝えたりする人へのインタビュー ・函館市の縄文遺跡から出土した、様々な土器や石器などの見学 ・縄文ペンダントづくりや組紐アクセサリーづくりの体験 ・開館時間：9:00～17:00（11月～3月末は16:30閉館） ・休館日：毎週月曜（祝翌日）、最終金曜、年末年始 ・TEL：0138-25-2030 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 33%;">・小学校高学年以上では、地域に縄文遺跡があり、世界遺産に登録されたことを知っている児童生徒の割合が高い。 <li style="width: 33%;">・年代による知名度の差はみられなかった。 <li style="width: 33%;">・地域の縄文遺跡の価値を広くたくさんの人に知ってもらいたい、この地域を訪れる人が増えてほしい。 <li style="width: 33%;">・地域の縄文遺跡に興味関心がある児童生徒の割合は学年が下がるほど低い。 <li style="width: 33%;">・どの年代においても、どの時代の遺跡で、どのような価値があるかわからない人の割合が高かった。 <li style="width: 33%;">・地域の縄文遺跡を守ったりその価値を伝えたりする取組に興味関心をもち、一緒に活動する仲間が増えてほしい。 </div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; margin: 10px 0; text-align: center;">整 理 ・ 分 析</div> <ul style="list-style-type: none"> ● アンケートやインタビューで得られた情報を整理・分析し、地域の縄文遺跡の価値を発信する目的や方法、対象を考える。 ● 整理・分析した情報をまとめ、学級全体で共有する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢の低い子どもたちが縄文遺跡に興味をもてるように、絵本や紙芝居、クイズなどを作成して紹介してはどうか。 ・年齢の低い子どもたちが縄文遺跡に興味をもてるように、組紐アクセサリーや勾玉ペンダントづくりなどの体験会を幼稚園や小学校で開催してはどうか。 ・地域のたくさんの人に地域の縄文遺跡について知ってもらうために、地域のお祭りで地域の縄文遺跡の魅力を伝えるパネルを展示してはどうか。 ・国宝「土偶」や縄文時代の人たちの生活の様子が分かる3D映像資料を活用して、その映像と関連させた、装飾品や土器等を制作して展示してはどうか。 ・多くの人が地域の縄文遺跡について知り、訪れたいくなるように、地域の縄文遺跡の魅力を伝えるパンフレットに動画も掲載して、地域の観光スポットや修学旅行先で配布してはどうか。 </div>		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現状を把握するために必要な情報を多様な方法で収集している。（思-②） <input type="checkbox"/> 地域の縄文遺跡や文化について、保存や継承に携わる人々と関わることを通して、自分たちもその活動に携わる一員であることに気付いている。（知-②） <input type="checkbox"/> 縄文遺跡や文化についての情報収集のため、地域の小、中、高等学校の児童生徒及び地域住民へアンケートを行う。 <input type="checkbox"/> 課題を解決するために、函館市縄文文化交流センター学芸員及びガイドと繰り返し関わる。 <input checked="" type="checkbox"/> ウェブ会議システム等を活用し、1人1台端末で学芸員やガイドと随時関わるができる環境を整える。 <input type="checkbox"/> 課題を解決するために、函館市縄文文化交流センター、垣ノ島遺跡及び大船遺跡を繰り返し訪れる。 <input type="checkbox"/> 遺跡や出土品の詳細情報について、教室で繰り返し調べることができるように、VRツアーデータや3D映像資料を活用するよう促す。 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民からの情報収集は、ポスターにQRコードを掲載して地域の施設や店に貼らせてもらうなどの工夫ができるようにする。 <input checked="" type="checkbox"/> 個人が収集した情報をグループ内で共有できるようにする。 <input type="checkbox"/> 収集した多様な情報を分類・整理し、地域の縄文遺跡の価値を伝える目的や方法、対象を明らかにして情報を発信する方策を考えている。（思-③）

時 間	<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; border-radius: 10px; display: inline-block;">探究過程</div> ● 主な学習内容	□ 評価 ○ 人材、施設、資料等の活用 ■ 指導上の留意点
7	<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; border-radius: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">課 題 の 設 定</div> ● これまでの学習を振り返り、地域の縄文遺跡の知名度を上げる取組の見直しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">地域の縄文遺跡の知名度を上げるために、効果的な発信方法を考え、実行しよう。</div>	□ 地域の縄文遺跡の価値について、調べたことの中から伝えたいことを明確にして、発信しようとしている。 (主-①)
8～11	<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; border-radius: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">情 報 の 収 集</div> ● 目的や対象を明確にして、発信する内容や方法を考え、実行する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢の低い子どもたちにも縄文遺跡への興味をもってもらうために、地域の縄文遺跡から分かる縄文時代の人たちの生活の様子を伝える紙芝居を作って幼稚園や小学校低学年で読み聞かせをしたり、縄文時代の人たちが使っていた道具を一緒に作って遊んだりしよう。 ・地域の多くの人に、地域の縄文遺跡の価値について知ってもらうために、地域のお祭りで縄文遺跡コーナーを設置し、縄文遺跡の魅力を紹介するパネルを展示したり、VRツアー体験コーナーを設置したりしよう。 ・パネルで紹介している装飾品や土器などを実際に触ることができるよう模型にして展示したり、組紐アクセサリや勾玉ペンダントなどを作れる体験コーナーを設置したりしよう。 </div>	○ 発信の目的に応じて、地域の幼稚園児や小学校児童、地域住民などを発信対象にし、対象に応じた発信内容や方法を考える。 ○ 自分たちの取組に対してアドバイスをもらうために、函館市縄文文化交流センター学芸員及びガイドと繰り返し関わる。 ○ 縄文遺跡や文化について発信する素材としてVRツアーデータや3D映像資料を活用するよう促す。 ■ 地域の縄文遺跡や文化について発信する際、世界遺産に指定されていない遺跡についても扱うことで、地域全体の縄文文化の素晴らしさについて発信できるようにする。
12～13	<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; border-radius: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">ま と め ・ 表 現</div> ● 縄文知名度UP大作戦を振り返り、知名度を上げることができたか、成果交流会を行う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問した幼稚園の先生への聞き取り調査では、縄文時代の人たちの生活を再現するごっこ遊びが始まり、もっと詳しく縄文時代の人たちの生活の様子を知ろうと図鑑で調べたり保護者に聞いたりする幼児もいたことから、幼稚園での紙芝居の読み聞かせや道具作りは、幼児に縄文遺跡への興味をもってもらうのに成果があったと考える。 ・訪問した小学校の先生への聞き取り調査では、保護者において地域の縄文遺跡に行った児童や家庭学習で縄文時代の人たちの生活の様子や使っていた道具などを調べる児童がいたことから、小学校での紙芝居の読み聞かせや道具作りは、児童に縄文遺跡への興味をもってもらうのに成果があったと考える。 ・お祭りの縄文遺跡コーナーに立ち寄ってくれた人たちにアンケートを行ったところ、パネル展示や体験コーナーに立ち寄ることで、地域に縄文遺跡があることを知ったと答えた人が全回答者の30%であったことから、お祭りでのパネル展示や体験コーナーは知名度を上げるのに効果があったと考える。 </div>	□ 地域の縄文遺跡の価値を発信する活動を振り返る中で、自分自身の変化や成果、課題に気づき、これから取り組むことを明らかにしている。(思-④) ○ 取組の評価を得るために交流先の学校園の教員や地域の祭りに訪れた人にアンケートを行い、結果を分析する。 ■ 取組の評価については、繰り返し関わってきた、函館市縄文文化交流センター学芸員及びガイドなどの専門家からも得られるようにすることで、単元全体の振り返りに生かすことができるようにする。

時 間	<div style="background-color: #0056b3; color: white; border-radius: 10px; padding: 2px 10px; display: inline-block;">探究過程</div> ● 主な学習内容	<input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 人材、施設、資料等の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 指導上の留意点
14	<p>● 単元全体を振り返る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の縄文遺跡について調べたり発信したりすることを通して、地域の縄文遺跡や文化の魅力を知ることができた。この魅力をより多くの人たちに知ってもらうために、地域の縄文遺跡の発掘体験会やイベントに参加したり、自分たちで企画したりしたい。 ・地域の縄文遺跡の価値を、地域の人たちだけでなく、もっと広くたくさんの人たちに知ってもらい、観光などで訪れてほしい。パンフレットを作ったり、インターネットを活用したりして情報発信したい。 ・世界遺産に登録されたことで終わることなく、遺跡や文化財を守り・継承していくためには、自分たちが、まず遺跡や文化財の価値をしっかりと知るところから始めないといけないと思う。この思いもしっかり発信していきたい。 ・たくさんの人々の思いや努力で、中空土偶の国宝指定、世界遺産への登録が実現した。その思いを今度は自分たちが引き継いでいきたい。 </div>	<input type="checkbox"/> 身近にある縄文遺跡や文化について、地域の人々の保存や継承に関わる活動を視野に入れ、自分もその一員として継続的に関わろうとしている。(主②)